

学習課題（中学校２年生）

【美術】※美術は、月に１度の課題となります。

<内容>

●目に見えない「音」や「声」などからイメージを膨らませ、オノマトペ（文字）のデザインをしてみよう。

※「オノマトペ」とは、状態や感情（擬態語）、あるいは動物の鳴き声や物音（擬音語）などを、文字で表し、それをデザインしたもののことを言います。

※「擬態語」とは、「ダラダラ」「ニヤニヤ」など、状態や感情などの音のしないものを音によって表す言葉のことを言います。

※「擬音語」とは、「ドカーン」「サラサラ」など、物音や動物の鳴き声などの音や声を文字で描写したもののことを言います。

<取り組み方>

- 1 ワークシートの①に、例に挙げた「擬態語」や「擬音語」から、自分なりにイメージを膨らませ、オノマトペのデザインを考えて描いてみよう。

動画の解説もあります。↓



- 2 ワークシートの②に、自分の経験や生活の中から感じたことを「擬態語」や「擬音語」で表現し、それを基にしてオノマトペのデザインを考えて描いてみよう。

「学習のヒント」

- ・美術２・３の教科書 P39 の「漫画で表現しよう」や、身の周りにある漫画や雑誌などの様々な表現方法を参考にして、アイデアを膨らませよう。
- ・１年生の時に学んだ「レタリング」も思い出しながら、自分なりに工夫して、オノマトペのデザインを考えてみよう。

（作品例）



美術科・ワークシート 学習課題（中学校２・３年生共通）

① 例を参考にして、次の「擬態語」や「擬音語」をオノマトペで表現してみよう。

擬態語・擬音語	感じたイメージ	オノマトペ
例 「さらさら」	静かに川が流れる感じ	
「ゴロゴロ」		
「びっかーん」		

② 「オノマトペで表現したら面白いかもしれない」と思う、日常生活で見たり、聞いたり、経験したりしたことを思い出して、擬態語や擬音語にし、オノマトペのデザインをしてみよう。

擬態語・擬音語	オノマトペのデザイン
工夫したポイント	

年 組 番 氏名